

わがまち再発見!!

シリーズ 文化財の紹介

対馬市教育委員会 文化財課

0920(54)2341

佐須銀山



銀山神社近景
(正面の宮前橋を渡った左手が神社)

かつて厳原町の「佐須」に銀山があり、昭和四八年まで亜鉛などを産出していたことをご記憶の方も多いでしょう。ではこの銀山がいつだった頃に関係されたのかはご存じですか？実は今から約一三〇〇年前のことなのです。

『日本書紀』の天武天皇三年(六七四)三月七日条に次のような記述があります。

『対馬国司守忍海道造大國が、「この国で初めて銀ができましたので、たてまつります」と言ってきた。これによって大國に小錦下の位を授けた。銀がわが国に産出したのはこのときが初めてである。それで

すべてを神々にたてまつり、また小錦以上の大夫たちにもあまねくそれを賜った」(宇治谷一九八八)

少々難しいですが、つまり大和政権から派遣された官僚である「国司」の「忍海道造」が「倭国で初めて銀を見つけた」と朝廷に報告した様子を書いているのです。この時期、大和政権は鉱物資源の開発のために国を挙げて全国各地を調査していました。そのような中、日本で初めて銀が見つかったというのですから、これは大きなニュースだったわけですね。また『続日本紀』には文武天皇二年(六九八)十二月条に「対馬で金が治成され、三年後に貢上された」と書かれています。八世紀の「大宝」という元号は、この金の貢上を受けて建てられたものです。

銀の採掘がその後いつまで続いていたかは定かではありませんが、十二世紀の後半にはすでに廃止されていたようです。時を経て十七世紀半ばに貿易上の必要性から再開発

されると、椎根から久根へと採掘地を広げていき、佐護や尾崎に発見された銀山や銅山とともに対馬藩の経済の一翼を担うようになりました。

大正時代以降は冒頭に述べたように亜鉛の採掘が主となりましたが、古代には日本初の銀山として、近世には対馬藩の重要な収入源として佐須銀山は名を馳せていたのです。檜根の「銀山(ぎんざん)神社」や「銀之本」という地名が隆盛を誇った銀山の存在を今に伝えていきます。



銀山神社拝殿

【引用・参考文献】

宇治谷孟一九八八『日本書紀(下) 全現代語訳』講談社学術文庫 八三四 株式会社講談社

つしま図書館情報

つしま図書館 0920(52)3900

- おはなし会 6月19日(土) 午後2時から午後3時まで 対馬市交流センター 4階ギャラリー
内容: よみきかせ、エプロンシアター、紙芝居、マジックショーなど
- 図書館では、ボランティアを募集しています。(カウンター内の作業、本の修理、おはなし会のスタッフなど) 興味のある方は、図書館までご連絡下さい。

今月のおすすめ新着本

一般書	『会話がとぎれない!! 話し方66のルール』 野口 敏 / 著 会話をつなげたり、はずませたりする方法を具体的にアドバイスするほか、困った場面での受け答えや、人の輪にとけこめる話し方などを多数紹介。すぐ使えるフレーズ満載。	『毒を出す! 新・食べ合わせ法』 増尾 清 / 著 体内の「毒」は食べ合わせで消す! 「食品安全の生き証人」と称される著者が、発がん性物質、輸入食品、食品添加物、農薬などの毒を消す食材・レシピ・食べ合わせを完全解説。	『平林都の接遇道』 平林 都 / 著 お客様がまた来たくなる接客の極意とは? 人とのふれあいを豊かにし、ビジネスにも人生にも役立つ「接遇」の基本を、マナー講師・平林都が伝授する。
児童書	『超ウケキッズマジック』 藤原 邦恭 / 著 「手のひらに霊気」や「命のオーラ」など、魔力と魅力がいっぱいのマジックのやり方とヒミツを、イラストでわかりやすく紹介。	『絵本おとうと』 松本 春野 / 著 悪さばかりするおとうとのでつろうと、いつもやさしい吟子姉ちゃん。50年前の幼い姉弟の日々は、いつも、笑いとやさしさに溢れていた。山田洋次監督の2010年公開映画「おとうと」から生まれた絵本。	『いちごだいふくちゃん』 わたなべ あや / 著 おばあちゃんの作る大福が大好きないちごちゃん。せつかく遊びに行ったのに大福がないので大泣きです。すると、「ばたばたばたばた...」と、どこからか不思議な音が、行ってみると、なんと大好きな大福がいっぱい! 大福の世界に飛び込んでしまった女の子。

人のつながりと情報発信の大切さを実感！



齋藤隊長3度目のラジオ出演

今月の福岡事務所の話題としては、やはり「とんちゃん部隊」のグルコン優勝です。この優勝のためには隊員の頑張りが一番ですが、メディアの力があつたからこそ、無名の「とんちゃん」が優勝できたのではないのでしょうか。

特に某ラジオ局の方には大変お世話になり、

ラジオ出演やイベントへの参加など様々な場面で「とんちゃん」を取り上げていただきました。このB級グルメの取り組みも、この方からグルコンの実行委員会の方を紹介していただいたことにより、参加したいという想いが現実のものとなりました。

最近ではイベント毎に行っていることなのですが、経費のかからない情報発信として、名刺交換した方へのメール発信や事務所のブログにも掲載しました。

大会会場で「ラジオを聞いて来たよ。」「メールを読んで来たよ。」といった声を聞き、メディアの影響力の強さと人のつながりの大切さを実感したイベントでした。(武末)

福岡で見つけた“対馬のいいもの”

福岡事務所のスタッフが、福岡で触れた対馬をご紹介しますコーナーです。



福岡市役所前公園の樹

対馬の春の花といえばヒトツバタゴ。ところが、なんと天神のビル街の真ん中でその樹を発見！場所は福岡市役所前の公園。調べて見ると他にも沢山のヒトツバタゴが植えられていました。

福岡市植物園・西鉄香椎花園・福岡ドーム横の公園・太宰府市役所・太宰府天満宮・鳥栖スタジアム・久留米市石橋文化センター・・・北九州市戸畑区には100本もの並木道「なんじゃもんじゃ通り」・・・

対馬市の木であるヒトツバタゴの真っ白い可憐な花が、福岡近郊の人々にも潤いをあたえています。



「ねんきん定期便」が送られています

年金コーナー



平成21年度に引き続いて22年度にも、国民年金および厚生年金に加入している方に、「ねんきん定期便」が日本年金機構から誕生日に送付されます。

これは、毎年度、加入者のお1人おひとりに対し、保険料納付実績や年金額の見込みなど、年金に関する個人情報をお知らせし、現役世代、特に若い世代の方に保険料負担と年金給付の関係を実感していただくことを目的とするものです。

この「ねんきん定期便」の通知内容は、年金加入期間(加入月数、納付済月数等)、50歳未満の方には加入実績に応じた年金見込額、50歳以上の方には「ねんきん定期便」作成時点の加

入制度に引き続き加入した場合の将来の年金見込額
保険料の納付額(加入者負担分累計)
年金加入履歴(加入制度、事業所名、加入者資格取得・喪失年月日等)
厚生年金のすべての期間の月毎の標準報酬月額、賞与額、保険料納付額
国民年金のすべての期間の月毎の保険料納付状況(納付、未納、免除等の別)となっております。

ただし、上記の内容の定期便が送付される人は、平成22年度にはじめて定期便が送付される人と、22年度に節目年齢(35歳、45歳、58歳)になる人に限られています。

それ以外の人の場合、右の「」については前年度のものが更新して通知され、については直近1年分が

通知されず、分らないことや疑問点がある場合は

ねんきん定期便専用ダイヤル0570058555に電話でご相談ください。

受付時間は
月曜～金曜日
午前9時

午後8時迄
第2土曜日
午前9時

午後5時迄です。
一般の固定電話の場合、接続先にかかわらず、市内通話料金のみで利用できます。

日本年金機構
長崎北年金事務局

長崎北年金事務局による出張年金相談

場所 上対馬総合センター
日時 6月10日(木)
午前9時から午後5時まで